

朝日Nvest グローバル ボンドオープン 愛称〔Avest-B〕

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第50期(決算日2025年2月25日)

作成対象期間(2024年8月27日～2025年2月25日)

第50期末(2025年2月25日)	
基準価額	7,632円
純資産総額	2,101百万円
第50期	
騰落率	△ 2.6%
分配金(税込み)合計	10円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債に、グローバルな視点から、幅広く投資機会を追求し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。債券のアクティブ運用で実績のあるルーミス・セイレス社に運用を委託しています。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
東京都杉並区和泉一丁目22番19号

<お問い合わせ先>

ホームページ: <https://www.alamco.co.jp/>

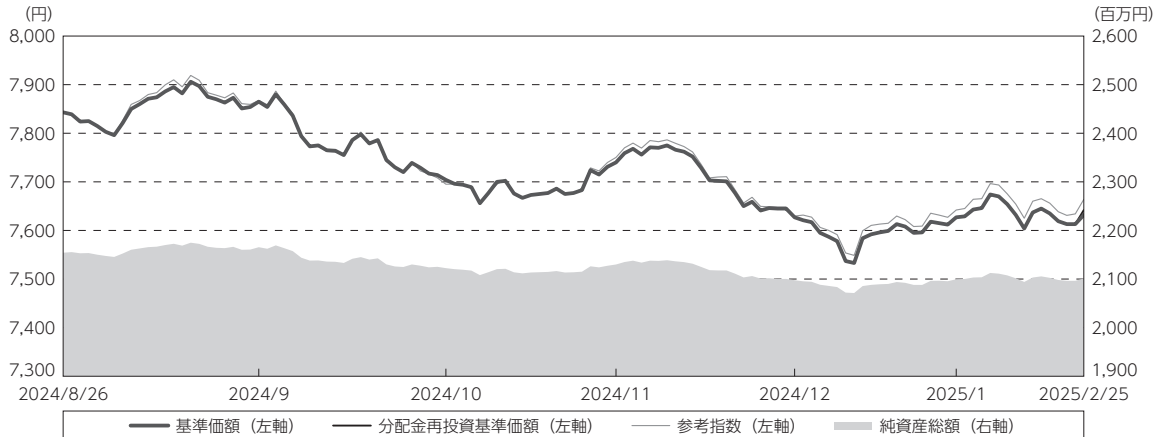
フリーダイヤル: 0120-283-104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年8月27日～2025年2月25日)



期首：7,843円

期末：7,632円 (既払分配金(税込み):10円)

騰落率：△ 2.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をファンドの計理基準に適合するように調整した数値を表示しています。この数値はインデックス構成国の現地通貨ベースのリターン(前営業日)から対顧客電信売買相場の仲値の1か月フォワードレート(当日)に基づくヘッジコストを控除した構成各国の円ヘッジベースのリターンを国別構成比で加重して算出しており、当ファンド設定日の前日を10,000として指数化しています。(以下同じです。)

○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、期中において投資適格社債を含む保有債券の利息収入を安定的に確保したこと、およびソフトランディング・シナリオに基づく景気への楽観的な見方のもとで、利回り水準が高く投資家の需要が旺盛であったことから社債の平均スプレッド(国債との利回り較差)が縮小傾向となったことが挙げられます。

主な下落要因としては、期中を通じて米経済の底堅さを背景にFRB(米連邦準備理事会)による利下げが緩やかになるとの見方のもとで、財政拡大およびインフレ再燃への懸念から主要国の国債利回りが概ね上昇傾向にあったこと、および海外との短期金利差を背景に為替ヘッジコストがかかったことが挙げられます。

1万口当たりの費用明細

(2024年8月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	55 円	0.717 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(30)	(0.386)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.303)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.018	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用です。
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用です。
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	56	0.735	
期中の平均基準価額は、7,729円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

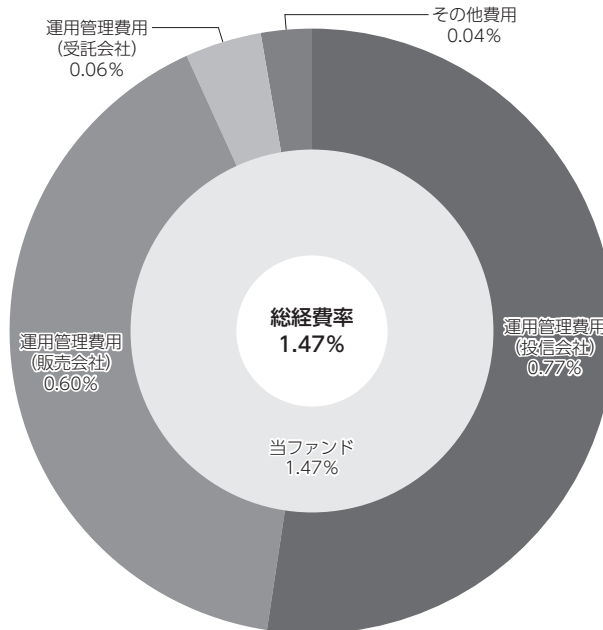
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.47%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

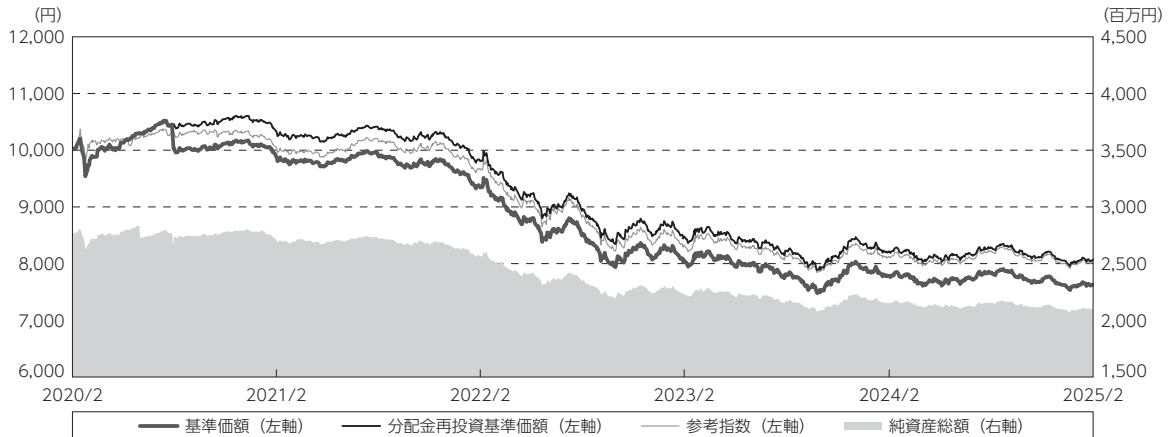
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年2月25日～2025年2月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年2月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2020年2月25日 決算日	2021年2月24日 決算日	2022年2月24日 決算日	2023年2月24日 決算日	2024年2月26日 決算日	2025年2月25日 決算日
基準価額 (円)	10,018	9,882	9,341	8,056	7,788	7,632
期間分配金合計(税込み) (円)	—	450	45	20	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.1	△ 5.0	△ 13.5	△ 3.1	△ 1.7
参考指数騰落率 (%)	—	0.3	△ 4.0	△ 13.7	△ 2.3	△ 1.1
純資産総額 (百万円)	2,763	2,709	2,561	2,232	2,153	2,101

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

投資環境

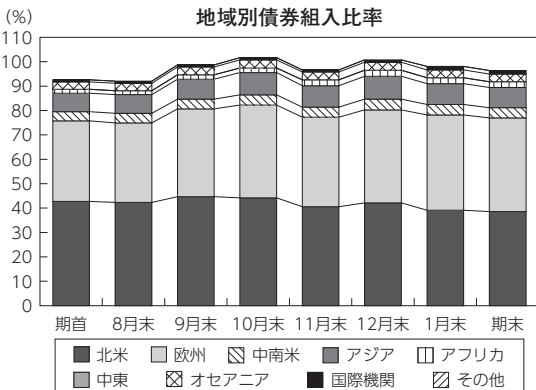
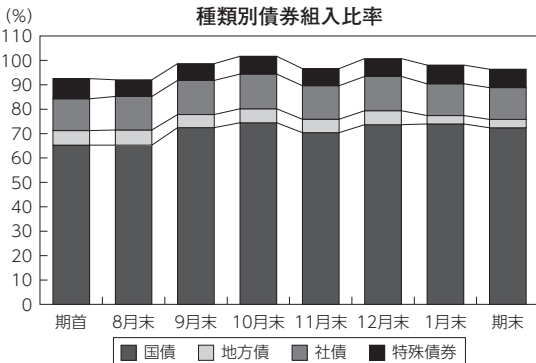
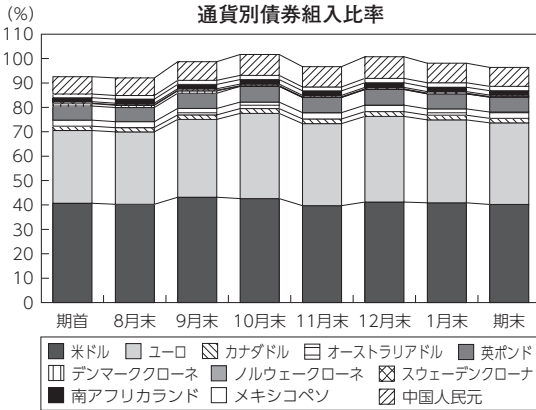
(2024年8月27日～2025年2月25日)

当期の前半については、米国において経済の底堅さを示す雇用統計などの経済指標が相次いで発表され、今後の利下げが緩やかになるとの見方が強まったことやトランプ次期政権の下で財政赤字拡大やインフレ圧力を高める政策が進むとの見方から米国債券市場では債券が売られ、米国債利回りは総じて上昇基調が続きしました。ユーロ圏債券市場においては、中東情勢緊迫に伴う原油価格上昇等を背景に国債利回りはやや上昇した後、トランプ次期政権の下で進められる関税引き上げがユーロ圏経済へ悪影響を与えるとの懸念や地政学的なリスクの高まりを受けて同利回りはやや低下する展開となりました。

当期の後半については、トランプ政権の下で拡張的な財政政策が実施され国債の需給が緩むとの観測や、追加関税によりインフレ率が高まるとの見方が強まったこと、さらにFRBによる利下げペースの鈍化観測を受けて米国債利回りは引き続き上昇基調となりました。特に2025年1月発表の雇用統計において非農業部門の雇用者数が市場予想以上に伸び、労働市場が堅調と受け止められたことから、同10年債利回りは一時4.8%と2023年11月以来の高水準を付けました。その後、1月中旬以降は一部の経済指標が市場予想を下回ったことなどから同利回りは低下方向に転じ、期末まで概ね横ばい圏で推移しました。ユーロ圏債券市場においては、経済低迷が懸念されたものの、一部の物価指数が市場の予想を上回り、再びインフレ警戒感が強まったこと、国防費増大の観測から財政悪化が意識されたことや、米国債市場の影響を受けて国債利回りは上昇基調となりました。なお、当期の社債市場については、前半は世界経済のソフトランディング期待により引き続き景気楽観的な見方が優勢となり、社債のスプレッドは縮小傾向が続いたものの、後半は米国の利下げペース鈍化観測やスプレッド水準の低下などを背景に全体として横ばい推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年8月27日～2025年2月25日)



主要投資対象である朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドは主として日本を除く世界各国の公社債に投資するとともに、外貨建資産の為替リスクを原則ヘッジすることにより、信託財産の長期的成長を図ることを目的としています。

運用にあたっては、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピー(以下「ルーミス・セイレス社」といいます。)に外貨建資産の運用指図(為替ヘッジ取引の指図を含みます。)に関する権限を委託しています。

ポートフォリオ全体のデュレーション(金利変動に対する債券価格の変動率)は期首より若干短い水準としました。

ポートフォリオの平均格付けはAA-と期首の水準を維持しました。また組入銘柄数は期首の96銘柄から期末は95銘柄となりました。

投資国(地域、国際機関を含みます。)数は、期首より1カ国少ない21カ国となりました。通貨別の組入比率については、主に米ドルの組入比率をやや引き下げ、デンマーククローネの組入比率をゼロとする一方、ユーロの組入比率を引き上げました。

当期の売買につきましては、主に地方債の比率を引き下げる一方、国債の比率を引き上げました。個別銘柄では、ケベック州債(カナダ、地方債)、CENTENE(アメリカ、ヘルスケア)、LOGICOR(ルクセンブルク、倉庫物流)などの銘柄を全部売却する一方、南アフリカ国債(南アフリカ、国債)、米州開発銀行(国際機関)、BOEING(アメリカ、航空機製造)などの銘柄を新規または追加で組み入れました。

エマージング諸国の債券につきましては、主に中国、南アフリカの組入比率を引き上げたことから組入比率は前期末からやや上昇しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

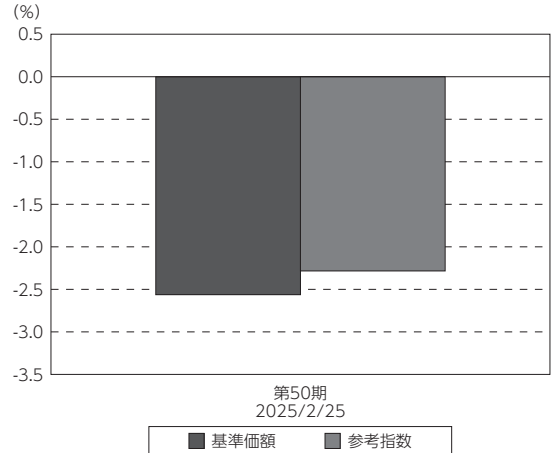
(2024年8月27日～2025年2月25日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークはありません。

コメントは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。基準価額は分配金再投資ベースです。

参考指数が2.3%下落したのに対し、基準価額は2.6%下落となり、参考指数を0.3%下回る結果となりました。控除される信託報酬等のコストが主なマイナスの乖離要因となりました。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込み(税込み)です。

分配金

(2024年8月27日～2025年2月25日)

当期の分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準などを勘案して、1万口当たり10円とさせていただきます。

なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第50期
	2024年8月27日～ 2025年2月25日
当期分配金	10
(対基準価額比率)	0.131%
当期の収益	10
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,466

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドへの投資により、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。マザーファンドは、引き続き、日本を除く世界各国の国債、地方債および社債等にグローバルな視点から幅広く投資機会を追求し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行ってまいります。また、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行います。

お知らせ

2025年5月24日付けで投資信託約款を変更し、当ファンドの名称を「ルーミス グローバル ボンドファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)」に変更することを予定しております。

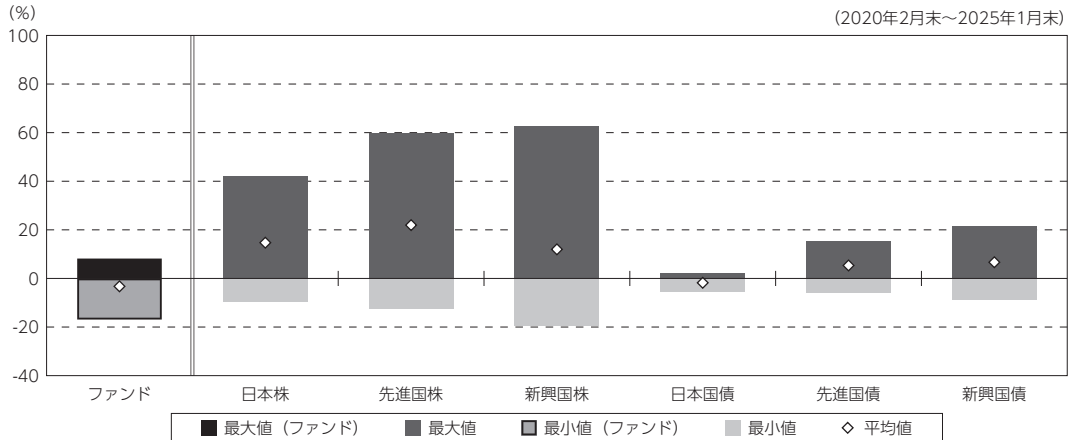
なお、上記の変更はあくまでもファンド名称の変更であり、ファンドの運用方針、運用体制、運用プロセス等が変更になるものではありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主として日本を除く世界各国の公社債に投資し、信託財産の長期的な成長を目指して、運用を行います。	
主要投資対象	朝日Nvest グローバル ボンドオープン	朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド受益証券
	朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド	日本を除く世界各国の公社債
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を除く世界各国の公社債に、グローバルな視点から、幅広く投資機会を追求し、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。債券のアクティブ運用で実績のあるルーミス・セイレス社に運用を委託しています。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	
分配方針	毎決算時(2月24日、8月24日。休業日の場合は翌営業日)に、配当等収益および売買益などのうちから、基準価額水準等を勘案して、分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	8.2	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	△ 16.9	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 3.3	14.7	21.9	12.0	△ 1.8	5.3	6.7

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年2月から2025年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年2月25日現在)

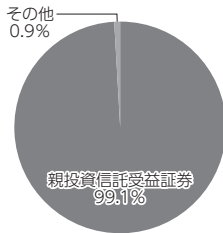
○組入上位ファンド

銘柄名	第50期末
朝日Nvest グローバル ボンドマザーファンド	99.1%
組入銘柄数	1銘柄

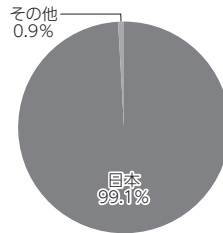
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

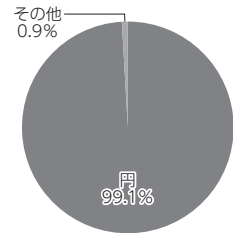
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

純資産等

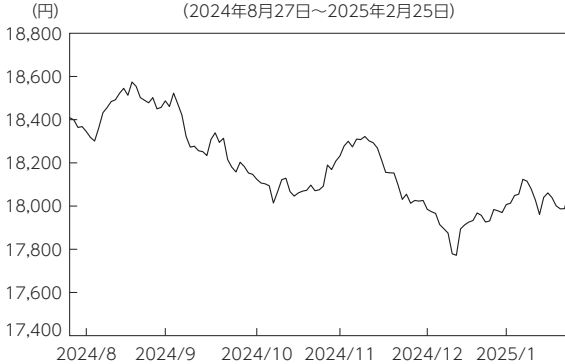
項目	第50期末
	2025年2月25日
純資産総額	2,101,221,040円
受益権総口数	2,753,103,873口
1万口当たり基準価額	7,632円

(注) 期中における追加設定元本額は44,470,106円、同解約元本額は37,840,752円です。

組入上位ファンドの概要

朝日 Nvest グローバル ボンドマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2024年8月27日～2025年2月25日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	3	0.016
(保 管 費 用)	(3)	(0.016)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	3	0.016

期中の平均基準価額は、18,196円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

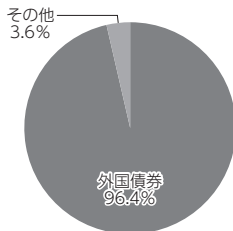
【組入上位10銘柄】

(2025年2月25日現在)

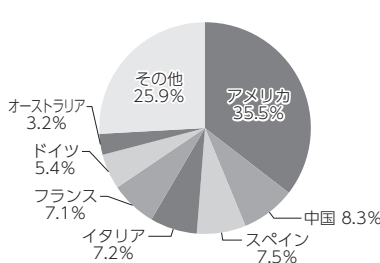
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1 US TREASURY NOTE 0.75% 2028/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	5.5
2 FRANCE O.A.T. 1.25% 2034/5/25	国債証券	ユーロ	フランス	4.9
3 US TREASURY BOND 1.75% 2041/8/15	国債証券	米ドル	アメリカ	4.2
4 GERMAN TREASURY BILL 0% 2025/7/16	国債証券	ユーロ	ドイツ	4.2
5 US TREASURY NOTE 2.75% 2027/4/30	国債証券	米ドル	アメリカ	3.8
6 BTPS 3.85% 2034/7/1	国債証券	ユーロ	イタリア	3.8
7 CHINA GOVERNMENT BOND 2.37% 2029/1/15	国債証券	中国人民元	中国	3.7
8 US TREASURY NOTE 3.75% 2030/6/30	国債証券	米ドル	アメリカ	3.4
9 US TREASURY NOTE 2.75% 2032/8/15	国債証券	米ドル	アメリカ	3.3
10 SPAIN GOVT 3.25% 2034/4/30	国債証券	ユーロ	スペイン	3.3
組入銘柄数	95銘柄			

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

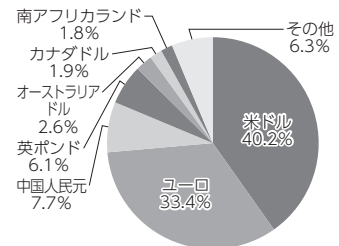
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。